

白滝ジオパーク・ガイドスキルアップ事業

「現場に即した救命救急のノウハウを学ぶ」参加レポート

キーワードは「ハイレベル」

### 【ハイレベルその1 講師の加藤先生の肩書と資格】

加藤直之氏

パタゴニア スノーアドバイザー

国立登山研修所 講師

国際自然環境アウトドア専門学校 (INAC) 講師

日本山岳ガイド協会認定 山岳ガイドⅡ スキーガイドⅡ

(日本バックカントリースキーガイド協会 会長)

アメリカ山岳ガイド協会認定スキーガイド

TENGU CAT-SKI GUIDES ディレクター チーフガイド

TORDRILLO NORTH ヘリスキーガイド

他 (他ってなんだ。例えばそろばん3級とか。)

こんなにあるのに、若い！国立登山研修所は文部省時代に富山県立山に設置した伝統ある施設です。その講師かあ。(ちなみに富山県では、冬山入山の条件としてビーコン携行だそうです。)

### 【ハイレベルその2 セルフレスキューの手立て 雪山三種の神器は正しく使いましょう】

セルフレスキューとは、その場に居合わせた人たちで、遭難者の救助にあたること。

雪山三種の神器とは、ビーコン プローブ スコップ。

「雪崩が起きるところには行かない」が最も大切な心構えです。でも、バックカントリースキー スノボーを展開するフィールドでは、予期せぬことも想定しておかなければなりません。万一の備えとして、CAT では、参加者、スタッフともどもビーコン (意味は「のろし」正式にはラジオビーコンらしい。) を携行させているそうです。

雪崩に遭ってしまった人は、雪の塊にぶつかり、立木や岩にぶつかり、さらに雪の中に閉じ込められてしまうのです。同じ場所に居合わせた人は、119 番通報はもとより、一刻もはやくセルフレスキューをします。

今回は、各自がビーコンを持っていることを前提に三種の神器の正しい使い方を教わりました。

#### ●ビーコン イメージは飛行機の着陸

遭難者から発信される電波を受信する持ち方は、飛行機が着陸するように取り扱うこと

#### ●プローブ 正しい姿勢 らせんで攻める

両手、立ち脚、力加減 そして、移動はらせんを描くように

#### ●スコップ 携行できる四角い形

チームプレーとしてのローテーションワークで、除雪排雪、フラットに

### 【ハイレベルその3 実技 マイナス 10℃以下での屋外に】

参加した消防隊員の方とともに、ビーコンを実際に活かしてみたり、プローブの感触を実感したりした後は、2メートル下に埋まる遭難者の救出のため、スコップ除雪排雪。リーダー役の加藤先生

の号令一発、先頭の三角を形作る 3 人の消防隊員が、目印 2 メートル手前から掘り始め、後続の左右 2 人ずつが、掘った雪を後方に排雪。リーダーの号令のもとローテーションが進む。「交代ー！」

とうとう来てしまった先頭の順番。目の前の雪をキューブにして、梃子の原理で雪面をはがすように後ろへ。3 分程度かもしれないが、「救助に休憩はない。」のリーダーの檄。「掘ってー、掘ってー」の CAT アシスタントの檄。そうです。救助ではなく、一刻を争う救命なのです。救命に休憩はないのです。

講義では、スコップチーム 5 人で 10 分のはずが、7 人 8 人でやっても、15 分以上かかったでしょうか。(救助できたかな。) それでも排雪した雪の体積は計算上 1 0 m<sup>3</sup>ほど。(タイヤショベルで 3~4 回！)

### 【感想 「実感！」】

今回の講座内容は、本来ならばもっと厳しい状況の中で、数日かけて行うものだそうです。映画の予告ではありませんが、エッセンスだけを 3 時間程度にまとめてくださいました。それでも、雪山三種の神器を正しく使うこと。リーダーの的確な指示に従うこと。などとともに、現場に救急隊が来るまでのセルフレスキューの大切さと実際に素人なりに実感できました。

また、CAT では、シーズン前から、地形、植生、気候などを調査しつつ、シーズンに備えるのだそうです。「アウトドアでの安全安心を利用者の方に」が最優先なのですね。白滝地区でのジオガイドではアウトドアが必須です。常に留意しなければならないことと思いました。

実は講師の加藤先生ばかりでなく、アシスタントをしてくださった CAT スタッフの方々の、それぞれの持ち場の準備やらお声がけ(むしろ激励)がありました。日ごろのチームワークの良さが伺えました。

皆さん ありがとうございました。

### 【ハイレベルおまけ 平均年齢は、えんがあるジオ倶楽部がハイレベル】

参加者グループの平均年齢は、①白滝消防隊 30 歳代 ②ジオパーク推進課 30 歳代 ③丸瀬布昆虫同好会 50 歳代 ④えんがあるジオ倶楽部 65 歳位でした。

(文責 竹内)

参考資料 当日の実施計画

平成 30 年 2 月 20 日

関係者各位

えんがあるジオ倶楽部

代表 矢木優

白滝ジオパーク・ガイドスキルアップ事業

## 現場に即した救命救急のノウハウを学ぶ

### 1 目的

天狗 CAT で展開する冬のアウトドア活動におけるリスク管理の理論と実際を通して、えんがあるジオ倶楽部ガイド実践におけるリスク管理に資する。

2 日時 2月20日(火) 9:00-12:00

3 場所 白滝天狗平 山の家 室内および屋外

### 4 講師について

加藤直之氏 取得資格・経歴等

パタゴニア スノーアドバイザー

国立登山研修所 講師

国際自然環境アウトドア専門学校 (INAC) 講師

日本山岳ガイド協会認定 山岳ガイドⅡ スキーガイドⅡ

(日本バックカントリースキーガイド協会 会長)

アメリカ山岳ガイド協会認定スキーガイド

TENGU CAT-SKI GUIDES ディレクター チーフガイド

TORDRILLO NORTH ヘリスキーガイド 他

### 5 内容与时程

9:00～ 主催者挨拶 講師紹介 ガイダンス

9:15～ 講義

① 雪崩に対する考え方

② 雪崩遭難のセルフレスキューについての方法

10:30～ 実践

① 現場におけるビーコンの利用法

② 雪崩遭難者のチームによるセルフレスキューの実際

11:45～ 総括

① 総括質疑

② 参加者感想発表

### 6 持ち物、服装

・野外対応 防寒衣料 防寒具

### 7 その他

・白滝消防支署消防署員も参加